

令和6年4月開始

地域医療コース 第8期編入生

看護師特定行為研修 募集要項

二次募集



公立大学法人和歌山県立医科大学

【指定研修機関番号:1730001】

〒641-8510
和歌山市紀三井寺811-1
TEL 073-447-2300(内線3276)
FAX 073-441-0769

1. 研修概要

特定行為研修を既に修了している者については、共通科目の受講を免除し、第8期編入生として下記区分別研修を受講することを可能とする。

また、修了している区分によっては領域別パッケージの一部の受講を免除する。

1) 研修内容と時間数

本学では「区分別科目」は講義・筆記試験をe-learningで個別履修し、本学独自カリキュラムによる演習・客観的臨床能力試験(OSCE)を集合研修で履修した後、受講者が勤務する医療機関あるいは受講者の勤務先と連携している医療機関で臨地実習を受ける。臨地実習は各区分の行為ごとに5症例以上の経験が必要である。

(1) 区分別科目研修

区分別科目は、下記1～7の区分から選択して受講できる。

	特定行為区分・特定行為	時間数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調節	9 +実習症例 5例以上
2	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 気管カニューレの交換	8 +実習症例 5例以上
3	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	9 +実習症例 5例以上
4	創傷管理関連 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法	36.5 +実習症例 各行為5例以上
5	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	16 +実習症例 各行為5例以上

(3) 領域別パッケージ

1	在宅慢性期領域パッケージ 気管カニューレの交換 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 脱水症状に対する輸液による補正	61 +実習症例 各行為5例以上
---	---	------------------------

区分別科目のスクーリング期間は、区分によって約3～8日間である。

スクーリング時期は令和6年4月中旬以降を予定している。令和6年2～3月頃に各区分の開催日程を受講者に通知する。

※ パッケージ研修のカスタマイズについて

在宅・慢性期領域パッケージに含む行為のうち、本学が特定行為区分として開講している行為については、受講者の希望で受講内容をカスタマイズし、特定行為区分を修了することも認めている。

在宅・慢性期領域パッケージ受講者の、受講内容カスタマイズについて

受講必須の特定行為	追加受講する行為
気管カニューレの交換	
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	創傷に対する陰圧閉鎖療法
脱水症状に対する輸液による補正	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

特定行為区分:創傷管理関連
修了となる

特定行為区分:栄養及び水分
管理に係る薬剤投与関連
修了となる

2) 研修期間

約6か月間(令和6年4月～9月)

3) 研修場所

公立大学法人和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス

実習協力施設(原則として受講者の勤務施設または連携施設)

4) 研修修了要件

下記の要件を満たし、本学の特定行為研修管理委員会における最終の修了判定をもって研修修了となる。

- (1) 選択した区分別科目やパッケージをすべて履修し、筆記試験、実技試験及び実習の観察評価において合格すること

※不合格の場合の対応

本学で行う区分別科目の筆記試験・OSCEについては、再試験は1回のみ行う。

5) 研修スケジュール(予定)

研修に関するおおまかなスケジュールは以下のとおりである。各スケジュールの詳細は、受講者に追って連絡する。

予定期間	登校(スクーリング)の有無	内容
令和6年2月 約1時間程度	Webで実施	オリエンテーション
令和6年3月～7月頃 各区分約1～3か月程度の視聴期間を設定する。区分ごとの視聴期間は令和6年2月以降に通知する		区分別科目 講義 e-learning・筆記試験
令和6年4月～7月頃 各区分約3日～6日間程度 各区分のスケジュール詳細は令和6年2月以降に順次通知する	○	区分別科目 演習・OSCE
令和6年4月～8月末頃 区分ごとの演習・OSCEなどを終えた区分から順次自施設で実習を開始する		区分別科目 実習(自施設)
令和6年9月初旬		修了判定
令和6年9月下旬	○	修了式

2. 応募要項

1) 受講要件

受講申請にあたっては、次に定める要件を全て満たしていることとする。

- (1) 本学または他の指定研修機関において、特定行為研修を修了していること
- (2) 正看護師の免許取得後、申請時点で通算5年以上の実務経験を有すること(県内外・医療施設等の制限なし)
- (3) 所属施設の施設長と看護部門長からの推薦状を添付できること
* 出願者本人が施設長の場合、出願前に看護キャリア開発センターまでご相談ください。
- (4) 受講開始後に、実習協力を得る関連医療機関の代表者から、実習受け入れに係る承諾を得ていること
- (5) 本学が定める6か月の研修課程を、連続して受講できること
- (6) 選択区分「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」については、受講修了後、自施設において継続して実務経験を積めること
- (7) 「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」については、以下のいずれかの認定を受けていることを出願資格とする
 - ・日本看護協会が認定する「糖尿病看護認定看護師」
 - ・日本糖尿病療養指導士認定機構が認定する「日本糖尿病療養指導士」
 - ・日本糖尿病教育・看護学会「糖尿病重症化予防(フットケア)研修」修了者

2) 募集人数

各科目の募集人数は、下記のとおり。

区分別研修は、受講者数2名以上で開講を決定する。

科目名	募集人数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	4名
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	若干名
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	2名
創傷管理関連	若干名
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	若干名
在宅・慢性期領域パッケージ	若干名

3) 出願期間

令和6年1月15日(月)～1月25日(木) **必着**

4) 出願提出書類

以下に示す提出書類について、記載上の注意点をよく確認のうえ郵送すること。

申請書類に不備や虚偽の申請があった場合は、審査の対象外となる場合がある。

手書き記入する際は、消せないボールペンで丁寧に記載すること。

なお、提出された書類は返却しない。

提出書類		記載上の注意点
様式1	受講申請書	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 署名欄は必ず自筆で記載すること
様式2	履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>必ずA4用紙2枚組(片面印刷)で提出</u>すること(ホチキス留めは不要) ➤ 内容は、正確に記載すること ➤ 虚偽の記載をおこなった場合は、受講決定を取り消すことがある ➤ 記載するメールアドレスは、PCなど書類のダウンロードや印刷が可能な端末でも使用できるものを記載すること ➤ 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記載すること(高等学校の卒業を含むこと)
様式3	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 研修修了後の自身の活動について、考えているビジョンを具体的に記載すること
様式4	受講推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 施設長ならびに看護部門長それぞれ1通ずつ推薦書を提出すること ➤ 研修受講に関する支援と、修了後の活用に関するビジョンを具体的に記載すること

次ページにつづく

添付	可否結果通知用封筒	➤ 長形3号、宛先を明記し、 <u>返信用切手434円(簡易書留料金350円+普通郵便料金84円分)を貼付する</u>
	看護師免許証の写し	➤ <u>A4サイズに縮小・白黒コピー</u>
	認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証、他受講資格に係る認定証の写し	➤ <u>受講資格に関わる資格認定証は、必ず添付すること</u>
	特定行為研修修了証	➤ <u>過去に特定行為研修を修了していることを示す証明書の写し(A4サイズ、白黒コピー)</u>
	提出書類準備チェックリスト	➤ <u>封入まえにチェックし、漏れがないことを確認のうえ、チェックリスト自体も同封すること</u>

5) 書類提出方法

上記4)の提出書類を、下記担当あてに「簡易書留」で郵送し、提出する。

所定様式は看護キャリア開発センターホームページよりダウンロードが可能である。

封筒の表に「**特定行為研修受講申請書類在中**」と**朱書き**で明記すること。

【宛先】

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

公立大学法人和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 特定行為研修担当 宛

6) 受講審査料

10,000円(消費税および地方消費税含む)

【振込期間】

令和6年1月15日(月)～1月25日(木)まで **注)1月26日(金)に入金確認がとれるように**

振込依頼人は以下のとおり入力すること。

振込依頼人の入力方法を間違えないよう、指定の振込先に納付すること。

振込に係る手数料は受講希望者の負担とし、**原則として入金後の返金はしない。**

トク) 氏名 (姓と名の間空白は不要です)

※氏名の前にカタカナで **トク) を忘れず入力!!**

【例】医大 花子さんの場合 → トク) イダイハナコ

【受講審査料納付先】

銀行名:紀陽銀行

支店名:紀三井寺支店

種別:普通

口座番号:0627219

名義人:こうりつだいがくほうじんわかやまけんりついかだいがくりじちようみやしたかずひさ公立大学法人和歌山県立医科大学 理事長 宮下 和久

7) 選考方法と日時

書類審査および面接

面接日程: 令和6年2月2日(金)

詳細な時間・場所については、応募者に後日連絡する

※ 受講審査料の納入確認後、面接に関する連絡事項(日時・場所など)を、履歴書に記載のメールアドレス宛に通知する。

8) 選考結果発表

令和5年2月末ごろに、合格者に通知書を郵送する。

※ 電話やFAXでの合否問い合わせには応じない。

9) 受講手続き

合否通知後、履歴書に記載のメールアドレス宛てに開講式の案内をする。

なお、受講にあたっては「看護師賠償責任保険」の加入が必須となるため、受講開始前に加入しておくこと。

10) 個人情報の取り扱いについて

応募書類など提出書類は、選考試験にのみ使用する。

合格者の提出書類については、受講中の事務手続き等に使用することがある。

個人情報の管理については、「公立大学法人和歌山県立医科大学個人情報の保護に関する法律施行規程」「公立大学法人和歌山県立医科大学個人情報保護安全管理措置要綱」に基づいて行う。

3. 編入料と研修受講料

1) 編入料

30,000円(消費税および地方消費税含む)

受講料と一緒に請求する。振込期間については、「3) 受講料の納付」に記載の通りとする。金額等詳細な情報は受講決定後に通知する。

振込先と振込方法は、受講審査料と同一である。

また、振込に係る手数料は受講希望者の負担となる。

2) 研修受講料

研修に係る受講料は以下の通りである。

科目名称	合計(税込) 材料費・演習費を含む
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	77,000円
呼吸器(長期呼吸療養法に係るもの)関連	55,000円

次ページにつづく

栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	100,000円
創傷管理関連	150,000円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	80,000円
在宅・慢性期領域パッケージ	295,000円～

- ※ 筆記試験、OSCEなどの評価で再試験が必要となった場合、別途費用がかかる。
- ※ 受講にあたっての交通費、宿泊費、通信費などの諸経費は受講生各自の負担となる。
- ※ 実習を自施設以外で実施する場合、協力施設への実習費が別途必要となる(1日2,500円 税込)
- ※ 在宅・慢性期領域パッケージのオプションを追加受講する場合、受講料は以下の通りである。

オプションの特定行為	受講料
創傷管理関連(創傷に対する陰圧閉鎖療法)	80,000円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整)	48,000円

- ※ パッケージに含む行為の一部を既に履修済みの場合、受講料の詳細についてはお問合せ下さい。

3) 受講料の納付

受講に係る費用については、納付時期に受講者に請求書を送付する。

納付時期	金額
令和6年4月1日(月)～4月10日(水)	編入料 受講する特定行為区分の受講料

研修施設へのアクセス

大阪(天王寺)から和歌山駅まで JR 阪和線(快速)で約 1 時間
 JR きのくに線 紀三井寺駅下車 徒歩約 7 分

<JR和歌山駅からのアクセス>

🚆 電車

JR 紀三井寺駅西口(きのくに線)より徒歩約 7 分

🚌 バス

JR 和歌山駅より和歌山バスで約 30 分

医大病院行き「医大病院」下車すぐ
 和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜行き「医大病院前」下車、徒歩 3 分

🚗 タクシー

JR 和歌山駅よりタクシーで約 20 分

<南海和歌山市駅からのアクセス>

🚌 バス

南海和歌山市駅(南海本線)より和歌山バスで約 30 分

医大病院行き「医大病院」下車すぐ
 和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜方面行き「医大病院前」下車、徒歩 3 分

🚗 タクシー

南海和歌山市駅よりタクシーで約 30 分



研修施設案内図

* 研修で使う施設を□で示しています



【問い合わせ先】

〒641-8510

和歌山市紀三井寺811-1

公立大学法人和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 特定行為研修担当 宛

TEL:073-441-0768(直通)

FAX:073-441-0769

メールアドレス:kango-c@wakayama-med.ac.jp